科目	教養現代社会	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	3年次一般コース文系
使用教科書 副教材等	教科書『現代社会』（東京書籍） 副教材『フォーラム現代社会』（とうほう） 自作プリント						

① 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ○民主主義や現代社会における法の働きなどについて学び、国民の政治参加の意義について考察することができる。 ○現代の経済の仕組みを市場や国民経済の観点から理解するとともに、日本の経済の動きを学び、政府による調整を必要とする消費者問題や雇用と労働、社会保障の現状と課題などについて考察することができる。 ○国際社会の仕組みと動きを政治、経済の観点から理解するとともに、国際社会における日本の役割について考えることができる。

② 評価の観点、方法

<ul style="list-style-type: none"> ○知識及び技能 現代の諸課題や事象について、客観的な知識や問題点を理解し、情報を適切かつ効果的にまとめることができる。 ○思考力、判断力、表現力等 授業時や試験時に、現代社会の問題を公平・公正に理解し、判断し、自らの言葉で表現することができる。 ○学びに向かう力、人間性等 授業に対して課題意識を持って臨み、現代の諸課題を主体的に解決しようとするすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期試験・小テストの結果をもとに、学んだことを処理し表現する技能が身についているか評価します。 ○ 記述形式のレポートプリントの内容、学習内容の記録ノート、グループワーク内容をもとに、学んだことを発展的に考えて、社会的な見方や考え方が身についているか評価します。 ○ 学習活動への取り組み、課題・提出物、自己評価シート・ルーブリックの状況をもとに、評価します。

③ 担当者から

<p>授業ではプリントを配布し、授業を進めていきます。一方的な教員による講義の時間は極力減らして、音読、問題演習、話し合い、グループ学習などを行います。学習に関するテーマはほとんど現在進行形で展開されている事柄です。自分には関係ないとは思わずに、積極的に取り組んでください。18歳成人など主権者としてこれから社会にでるみなさんに必要不可欠な内容です。深い思考や洞察をするためには、物事の本質とそれを表す言葉（語句）を覚え理解することも、とても重要です。当事者意識をもって授業に臨みましょう。</p>

※ 前期反省

--

※ 年間反省

--

※ 次年度に向けて

--

④ 学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業時数
4	現代の社会と人間 国際社会と人間の課題	・国際政治のしくみと動向	・国際社会の動きを、政治や経済の動向を取り上げて具体的に協力や国際協調を推進する上で国際的な組織の果たす役割が増大していることを認識させる。 ◎国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考えることができる。	前期中間Ⅰまで 予定 10 10
5	国際社会と人間の課題 現代の経済と国民福祉	・国際経済のしくみと動向 ・国際社会の現状と課題 <前期・中間試験Ⅰ> ・国際社会の現状と課題 ・経済の仕組み	・国際社会の現状や課題について、地域統合や格差、難民問題を取り扱う。世界における日本の立ち位置や役割について考え、自分の意見をもたせる。 ◎国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考えることができる。 ◎授業、定期考査、ワークシートによる知識、理解の確認。 ◎定期考査やワークシートによる思考力、判断力、表現力の確認。 ◎自己評価シートによる自己評価、授業での積極性や態度。 ・国際社会の現状や課題について、地域統合や格差、難民問題を取り扱う。世界における日本の立ち位置や役割について考え、自分の意見をもたせる。 ◎国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考えることができる。 ・自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能について理解させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。	実施 0 前期中間Ⅱまで
6	国際社会と人間の課題 現代の経済と国民福祉	・国際経済のしくみと動向 ・経済の仕組み <前期中間試験Ⅱ>	・国際社会の動きを、政治や経済の動向を取り上げて具体的に協力や国際協調を推進する上で国際的な組織の果たす役割が増大していることを認識させる。 ・自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能について理解させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。 ◎授業、定期考査、ワークシートによる知識、理解の確認。 ◎定期考査やワークシートによる思考力、判断力、表現力の確認。 ◎自己評価シートによる自己評価、授業での積極性や態度。	予定 8 18 実施 0
7・8	国際社会と人間の課題 現代の経済と国民福祉	・国際経済のしくみと動向 ・経済の仕組み	・国際社会の動きを、政治や経済の動向を取り上げて具体的に協力や国際協調を推進する上で国際的な組織の果たす役割が増大していることを認識させる。 ・自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能について理解させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。	前期末まで
9	国際社会と人間の課題 現代の経済と国民福祉	・国際経済のしくみと動向 ・経済のしくみ <前期期末試験>	・国際社会の動きを、政治や経済の動向を取り上げて具体的に協力や国際協調を推進する上で国際的な組織の果たす役割が増大していることを認識させる。 ・自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能について理解させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。 ◎授業、定期考査、ワークシートによる知識、理解の確認。 ◎定期考査やワークシートによる思考力、判断力、表現力の確認。 ◎自己評価シートによる自己評価、授業での積極性や態度。	予定 12 30 実施 0
10	現代の経済と国民福祉	・経済のしくみ ・変化する日本経済	・自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能について理解させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。 ・市場経済の意義と機能をもとに戦後から現在に至るまでの国策や景気変動について理解を深めさせる。 ◎日本経済の変化を理解し、良識ある公民としての役割や責任を考察することができる。	後期中間まで
11	現代の経済と国民福祉	・経済のしくみ ・変化する日本経済 <後期・中間試験>	・自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能について理解させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。 ・市場経済の意義と機能をもとに戦後から現在に至るまでの国策や景気変動について理解を深める。 ◎日本経済の変化を理解し、良識ある公民としての役割や責任を考察することができる。 ◎授業、定期考査、ワークシートによる知識、理解の確認。 ◎定期考査やワークシートによる思考力、判断力、表現力の確認。 ◎自己評価シートによる自己評価、授業での積極性や態度。	予定 14 44 実施 0
12	現代の経済と国民福祉	・豊かな生活の実現	・雇用、労働問題、社会保障、農業などが抱える諸問題について理解を深めさせる。 ◎現代社会が抱える諸問題について理解し、考察したり追及したりすることができる。	
1	演習	大学入学共通テスト対策演習 論述試験対策演習	○ マーク式問題集の演習	年度末
2・3				予定 10 54 実施 7 7